

日・フィリピン首脳会談

2月9日(木) 東京

inout
&

岸田文雄総理大臣は2月9日、大統領として初めて日本を訪問したフィリピンのフェルディナンド・マルコス大統領と総理大臣官邸で首脳会談を行い、日・フィリピン共同声明を発出した。両首脳は、複雑な国際情勢のなか、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に向け、隣接する海洋国家である両国の関係を一層発展させ、経済や安全保障、人的交流など広範な分野において二国間協力を具体的に進めていくことで一致した。さらに、マルコス大統領から岸田首相に対し、早期のフィリピン訪問を招請し、岸田首相はこれを受け入れた。



共同記者発表にて握手を交わすマルコス大統領と岸田首相(内閣広報室)

林外務大臣のドイツ・ミュンヘン訪問

2月17日(金)～19日(日) ミュンヘン



歓談するG7外相たち

林芳正外務大臣はドイツのミュンヘンを訪問。ミュンヘン安全保障会議に出席し、今年の日本の議長国で初となるG7外相会合を開催した。ミュンヘン安全保障会議において林外相は、欧州とインド太平洋の安全保障は不可分なことを示し、複雑な安全保障環境下でのインド太平洋地域における日本の基本方針を紹介し、同志国と連携してFOIPを実現していく必要性を主張した。G7 外相会合においては、ロシアによるウクライナ侵略に対してG7が結束してウクライナへの支援を継続していくこと、法の支配に基づく国際秩序を守り抜く確固たる決意を再確認した。会合の後半にクレーバ・ウクライナ外相が参加し、G7によるこれまでの支援に対する謝意とさらなる支援に対する期待が示された。